

活動レポート

遊休農地再生隊

今回は、勝間駅近くの遊休農地を活用して地域づくりを行っている、遊休農地再生隊の代表 佐久田さんと、農作業をされていた男性会員のみなさんにお話を伺いました！

1 荒れた農地を耕すのは大変だったのでは？

今は整備された畑になっていますが、もとはセイタカアワダチソウが一面に生い茂っている土地（35アール）でした。それを一から耕して3分割し、1つは野菜畑に、1つはもち米用の田んぼに、1つは肥料作り用の場所として活用しています。

2 野菜作りや米作りに、地域のみなさんがいろいろな形で参加されているそうですね。

はい、まずは肥料作りですが、これは熊本婦人会で作られたEMポカシ(EM菌と有機物から作る発酵資材)と、付近の保育園や老人ホームなどから回収した生ゴミを混ぜて作っています。➡

そして、この肥料を使って野菜作りをしていきますが、地域のみなさんに安心・安全な野菜作りの過程を知ってもらいたいと思い、種撒きや収穫を手伝ってもらっています。できた野菜は希望する方に販売していますが、安くて安全なのでとても喜ばれています。

また、小学校の体験学習として、勝間小の1・2年生と芋づるの苗植えや芋掘りを、5年生ともち米の苗植えから、稲刈り、餅つきまでを一緒に行っています。



佐久田さん(左から2番目)と男性会員のみなさん



3 会にはそれぞれ特技を持つ会員さんがおり、また地域の方の参加・協力も得られていますが、人を集めるコツは？

(佐久田さん) 私自身が婦人会などいろいろな組織の役員・委員をしており、地域の人と様々な形で繋がりがあります。そういったベースがあるので協力が得やすいのではと思います。

(男性陣) 佐久田さんに声をかけられたら、そりゃ〜集まるしかないいいねえ！(笑)

4 活動していてよかったことは？

(男性陣) 男性はどうしても地域との繋がりが薄くなりがちですが、ここの活動を通して、会社勤めだけでは知り合えない人達と出会えました。健康管理もできるし！➡

(佐久田さん) 安全でおいしい野菜やお米が作れたことはもちろんですが、それを通して、活動目標の1つでもあった、地域の子も達や若い世代の人達とふれあうことができたことです。

5 これからしていきたいことは？

「安心・安全野菜を子や孫に」をモットーに活動していますので、野菜の収穫量を上げ、もっとたくさんの地域の人に、ここですくすく育った、大きくて柔らかい、おいしいブランド野菜が届けられるようにしたいです。

また、子どもからお年寄りまで、より多くの人に参加してもらい、地域の方の輪が広がるように願っています。

【問合せ先】遊休農地再生隊
TEL 0833-91-1317 (佐久田)